

## 本校の沿革と先輩の活躍

### 明治12年 和歌山中学校開設

- 明治16年 植物学民俗学者 南方熊楠卒業
- 明治44年 ビタミンA抽出 理学博士 高橋克己卒業
- 大正4・昭和3年 全国中等学校野球大会 第1回大会から14回連続出場
- 大正10・11年 全国中等学校野球大会連続優勝
- 昭和2年 全国選抜中等学校野球大会優勝  
オリンピック2回連続銀メダル獲得  
西田修平卒業

### 努力！天は自ら助くる者を助く

- 昭和8年 元駐米大使 野村吉三郎箴言碑建立
- 昭和20年 直木賞作家 津本 陽卒業  
(昭和21年 日本国憲法公布)

### 昭和23年学制改革 県立桐蔭高等学校となる

- 昭和24年 全国高等学校野球選手権大会準優勝
- 昭和36年 全国高等学校野球選手権大会準優勝
- 昭和46年 黒潮国体開催
- 昭和53年 和中桐蔭100周年記念事業
- 昭和55年 第一回桐蔭音楽祭

### 新たな飛躍をめざして

- 平成3年 数理科学科設置
- 平成4年 2学期制を実施
- 平成5年 65分授業開始
- 平成8年 「輝けハイスクール」支援事業の実施
- 平成11年 総合人文科設置  
和中桐蔭120周年記念事業 モニュメント建立
- 平成12年 桐蔭総合大学の実施

### 大きくはばたこう21世紀

- 平成13年 入選「自校問題作成」制度導入
- 平成14年 長期休業日の短縮実施
- 平成15年 通学区域撤廃  
「スーパーサイエンスハイスクール」に文部科学省から指定
- 平成16年 土曜講座図書館開放実施

### 平成19年 桐蔭中学校開校

- 平成22年 体育館改修
- 平成25年 文部科学省「研究開発学校」指定
- 平成30年 3学期制実施

### 140年目の「改革と伝統」

- 令和元年 50分授業開始  
高校学科改編「新しい普通科」  
和中・桐蔭創立140周年記念式典挙行
- 令和3年 旧制和歌山中学校図書館運動場スタンド  
国登録有形文化財登録



南方 熊楠



高橋 克己



西田 修平



津本 陽

1. 新たなる世紀に目覚めて  
紀の国の雲に呼ぶよ光  
見よさぐる真理のあかり  
眉を照らす  
ゆかし桐蔭かをる学園  
若きわれらひたに学ぶ
2. 絶え間なく誠みがけと  
紀の川の水は語る朝夜  
見よ開く平和の花を  
胸に持てや  
ゆかし桐蔭かをる学園  
若きわれら道にこぞる
3. 陽に映えて桐よ生ひたて  
黒潮の風よ通へこの地  
見よ強く伸びゆく力  
明日を築く  
ゆかし桐蔭かをる学園  
若きわれらともににはげむ

## 校歌

作詞 西川良三郎  
作曲 竹中 重雄

### 校歌について

歌詞は、生徒の保護者、教職員から広く募集した100点余りの中から選ばれたものです。  
曲は、当時の桐蔭高校の音楽科担当教諭が作曲しました。

# と き 新たなる世紀に目覚めて

### 校名について

昭和23年5月10日の開校に際し、初代校長松野三郎氏によって名付けられました。「寸刻を惜しんで学べ」という意味の漢詩「少年易老学難成一寸光陰不可輕未竟池塘芳草夢階前梧葉既秋声」の梧葉（アオギリ）に基づくものです。また、桐の生育にちなんで、生徒たちがすくすくと育つように、大木の葉が茂り蔭をなすことになぞらえて、学校がますます発展するようにとの願いが込められています。



### 校章について

「知」「徳」「体」を表す桐の葉を3枚配置し、その前に中学校の「中」、後ろに旧制和歌山中学校の校章の一部をデザインしたものです。  
当時の桐蔭高校の美術科担当教諭が考案しました。

# 文武両道・改革と伝統

